

インフォメイトしよら

▶ 特集：消化器センターの開設

2020.August

▷▷ Topics 01: 新型コロナウイルス感染症対応等について

Vol. **26**



〈理念〉

一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

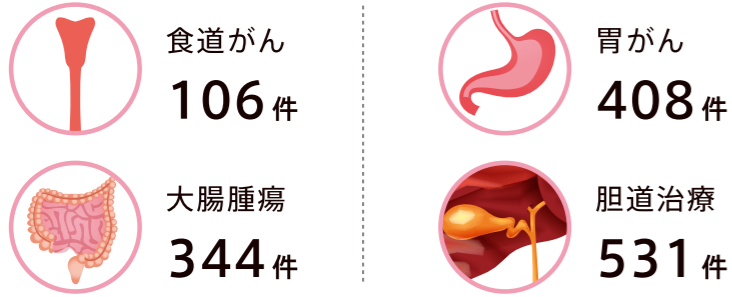
〈方針〉

- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます

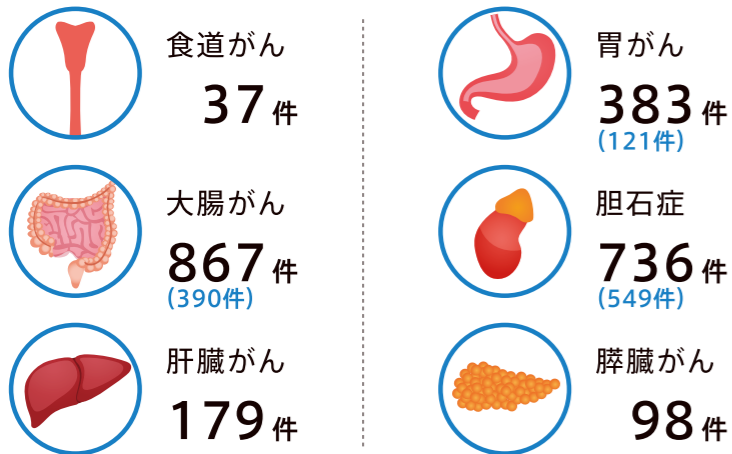
公立昭和病院の検査・治療実績データ (過去5年間累計)



内視鏡的治療件数



外科治療件数



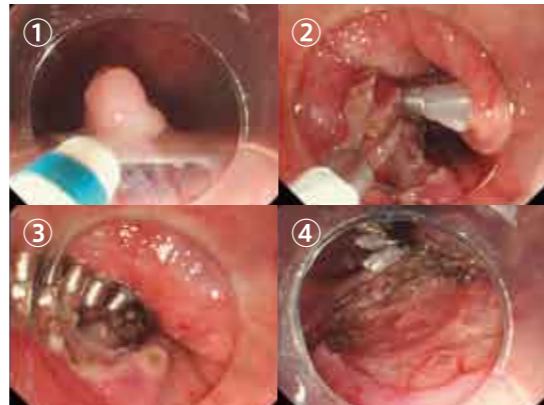
(腹腔鏡下手術の件数)



【腹腔鏡下手術の様子】



【内視鏡の施行】



【内視鏡映像】



消化器センター 活動開始!

消化器内科、内視鏡科、消化器外科が一体となり、消化器疾患のより質の高い診断、治療を推進する目的で「消化器センター」を立ち上げました。



公立昭和病院 院長 上西 紀夫

消化器疾患は、高血圧症を含む心血管系疾患、精神神経系疾患と共にわが国の主要な疾患です。また、死因の第1位を占めるのは、悪性腫瘍(がん)ですが、その中でも消化器癌が最も多いことが報告されています。

そこで当院は、これまで積極的に消化器疾患の診断、治療に取り組んできましたが、がん診療連携拠点病院として消化器癌についてもより積極的に取り組み、治療成績を向上すべく、この度、消化器センターを立ち上げ、本年1月より活動を開始しました。

消化器疾患の診断については、消化器内科医、消化器内視鏡医、消化器外科医のみならず放射線科医や病理医が携わっていることから、より正確な診断のためには相互のコミュニケーションが極めて重要です。

治療においては、内視鏡や腹腔鏡を使った体への負担の少ない低侵襲治療が重要ですが、それをスムーズに行うためには内科サイドと外科サイドとが一緒にカンファランスを行い、適切な治療方針を決めることが極めて重要です。

以上のことから、内科系の病床と外科系の病床を本館に集中、一体となって運営することで、より安心、安全な消化器疾患の診断と治療に力を傾注することにしました。消化器内科・内視鏡医12名、消化器外科医15名で担当し、最新の知識と技術を駆使して市民の皆様のご期待に添えるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします!



消化器センター開設にあたって



消化器センター長
外科・消化器外科 部長 山口 浩和

Profile (専門分野)

消化器外科／一般外科(腹部救急疾患の診断、治療)／消化器内視鏡／栄養サポートチーム(NST)

高度な治療を迅速に行い、更に病床を有効に活用する協力関係

これまで、消化器外科、消化器内科は、治療にあたって情報共有を密にし、より良い治療にむけて協力してまいりました。上部消化管カンファランス、下部消化管カンファランスを毎週開き、それぞれの症例を提示し、内科・外科合同のカンファランスで治療方針を話し合い決定するなど、一体となって活動してきております。

この度、更に協力関係を強化し、消化器疾患の高度な治療を迅速に行えること、病床を有効に活用し効率的に治療を進めることを目指し、2020年1月消化器センターを設立いたしました。

これまで、消化器外科、消化器内科・内視鏡科に分かれていた病棟を一体化することで、看護、リハビリ等治療を支えるチーム医療のメンバーを変えることなく、内科から外科、あるいは外科から内科に転科して治療が行え、患者さんの安心感につながると考えております。また、ベット稼働状況に応じて弾力的に内科・外科のベット数を変動でき、患者さんの受け入れをスムーズにできる点も大きな利点と考えます。内科医師、外科医師間の情報共有も更に強化され、遅滞ない治療を実現してまいります。

新型コロナウイルスの蔓延で病院環境、治療環境が大きく変化し、順風満帆な出だしとはなりませんでしたが、7市の消化器疾患治療の中心となり、地域の先生方に信頼される砦となれますよう、今後一層の努力を重ねてまいります。どうぞよろしく願いたします。



内視鏡センター長
内視鏡科 部長 川口 淳

Profile (専門分野)

消化器内視鏡診断治療／消化器内科／内科一般

内視鏡はますます進化しています。

内視鏡科は従来から存在する消化器外科、消化器内科から分派、進化した診療領域ですが、実際の診療は3科合同、共同で行われています。内視鏡といえば、まだまだ胃カメラと思われる方も多いと思いますが、昭和から平成を経て令和の時代となり内視鏡の世界は大きく変わっております。光学レンズを用いたファイバースコープがCCDを用いた電子スコープとなり多数での同時観察が可能となり、チーム医療にマッチした進歩を遂げています。

内視鏡的周辺切開粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる治療手技は、広さのある平坦型の悪性腫瘍を食道から胃、十二指腸、大腸に至るまで切除することができ、適応病変の発見のために、拡大内視鏡やNBIとよばれる非可視光を用いた観察方法も用いられています。

また、超音波内視鏡という内視鏡の先端に超音波装置を具備した特別な内視鏡を用いることで、膵癌の早期発見、膵頭部腫瘍の病理組織検査、慢性膵炎の経過観察、胆嚢隆起性病変、膵胆管合流異常、膵嚢胞性病変の診断と経過観察などが行えるようになっていきます。更にはこれを利用して腹腔内の腫瘍組織を獲得することで、従来は必要とされた外科開腹手術を避けることも可能となってきています。

急性膵炎や慢性膵炎の増悪に伴う仮性膵嚢胞感染を伴うWON(Walled off necrosis)に対する特別なタイプのステント留置による治療、総胆管結石の内視鏡治療にも積極的に取り組んでおり、EALB(Endoscopic papillary large balloon dilatation)を用いたりして治療しています。

大腸内視鏡検査は、上部消化管と同じように大腸出血に対する止血、癌の内視鏡治療、大腸ポリープの切除、炎症性腸疾患の診断と治療、S状結腸軸捻転の解除なども行います。

令和の時代には、低侵襲治療の代名詞とも言える消化器内視鏡診療は、診断から治療までも担い、消化器センターにおいては、関係する3科が協力して、より患者さんに優しい、低侵襲治療に留意してまいります。よろしく願いたします。

低侵襲に治療するため、疾患の早期発見に努めています。

これまでも当科は、非常に多岐にわたる消化器疾患診療の中で、消化管癌の早期診断、内視鏡治療、膵胆道良悪性疾患の内視鏡治療には最大限力を入れて取り組んできました。

我々が重視し、目指している医療の一点として、超高齢社会到来の中、出来るだけ低侵襲に(体の負担を少なく)治療することが挙げられます。そのためには疾患の早期発見が重要で、我々も日々、診断能、治療技術向上に努めておりますが、地域の診療所、病院長の先生方の質の高いご診療と沢山の紹介のおかげ様を持ちまして、先の2ページ目の治療実績がでております。

しかし、内視鏡治療で根治可能か判断の難しい、あるいは根治できない疾患、外科治療とのコラボレーションを要する疾患が、消化器領域には多く存在します。これまでも消化器外科とは対話を密に行い診療方針を決定してきましたが、消化器病センター整備後、内科医は外科的手術の必要な知識を、外科医は内科の得意な診断についての知識など相補的な情報や技術を共有でき、より精度の高い診療が可能になったと思えます。また、入院患者さんの顔を、科の境界なく外科医も内科医も拝見しに行ける良い環境ができたこと喜んでいきます。

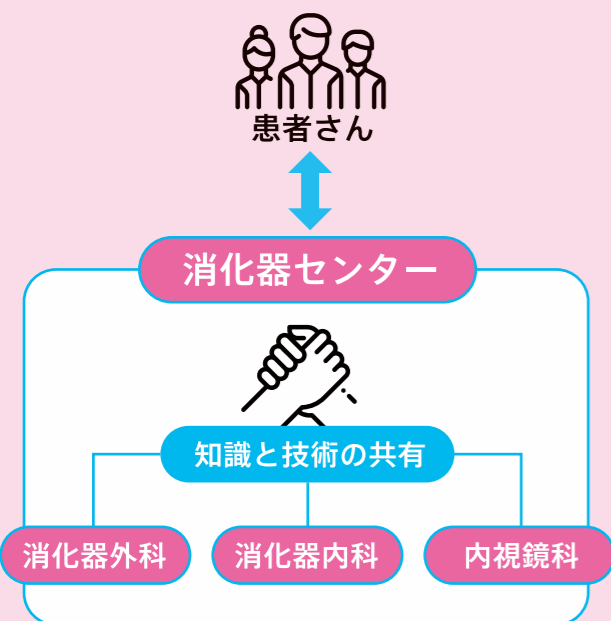
これからも地域住民の皆さんのお役に立てるよう、消化器センター全員が協力しあい努力してまいります。よろしく願いたします。



消化器内科 部長 浦牛原 幸治

Profile (専門分野)

消化器内科／消化器内視鏡／炎症性腸疾患



新型コロナウイルス感染症 対応等について

〔本院が実施した本感染症患者に対する診療方針及び体制等〕

〈診療の基本方針〉

院内感染防止及び中等症から重症患者の治療

外来診療は、4月9日より対象者を地域（構成7市）のかりつけ医からの紹介患者とし、救急外来Eブースでの診療に加え、病院玄関前ピロティに発熱外来テントを設置し、診察、検査（胸部X線撮影）、必要に応じてPCR検査を実施しました。

※院内でお待ちになる際は、間隔を空けてお座りください。



入院診療では、感染症病棟等を中心に受け入れを行い、感染疑い患者の検査及び陽性患者の受け入れ、治療、経過観察を行いました。

設備面では、救急病棟の陰圧工事、体外式模型人工肺の整備などを行いました。

今後も感染症指定医療機関（第二種）として関係各所と協力しながら地域医療を支えてまいります。

【本院が取り扱った本感染症の患者数】(6/30までの集計)

区分	2月	3月	4月	5月	6月	合計
入院(疑い含む)	12	21	69	99	69	270
PCR陽性	4	6	34	9	12	65

入院患者の内訳(単位:人)

区分	2月	3月	4月	5月	6月	合計
帰国者・接触者外来、発熱外来等患者数	11	39	205	233	210	698
発熱外来(テント)	—	—	93	151	136	380
PCR陽性	1	3	15	3	6	28

発熱外来等患者の内訳(単位:人)



※ビニールカーテンを設置しております。

6/22より通常診療を再開

各種自粛要請の解除に伴い、6月22日(月)より、通常診療を再開しております。当院では、下記の感染対策を実施しております。

- ① 感染対策を専門に行う部署があり、感染対策が適切に行われているか定期的にチェックをしています。
- ② 手術や感染リスクの高い処置・検査等は、一層の感染対策を取って対応します。それに伴い、患者さんには、受診に際して検温・PCR検査等のご協力をお願いする場合があります。
- ③ 面会については、しばらく制限があります。

これまで、新型コロナウイルス感染症の患者さんを多数受け入れてきましたが、患者さんから職員に、また、職員から患者さんに感染した例はありません。

新型コロナウイルス感染症の不安が、いまだに残る状況ではありますが、当院は安心して受診いただける体制の整備に努めております。

今後とも、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※診療体制等に変更があった場合は、ホームページにてお知らせいたします。



予防・健診センターのご紹介

本院の予防・健診センターは、健診施設機能評価の認定を受けている全国でも数少ない健診施設です。ホテルライクな空間で、リラックスして人間ドックを受診していただけます。

当院では、人間ドック(1日ドック)をはじめとして、脳ドック、半日ドック、CTによる大腸検査など、専門の医師による質の高い健診を提供しております。

人間ドック 一般料金 46,000円(消費税抜)

※コース料金は、行わない検査があっても差引はできません。

〔受診日〕 毎週月曜～金曜日 〔受付時間〕 午前8時以降
〔終了時間〕 14時30分～15時30分頃 ※内容によって異なります。

脳ドック 一般料金 75,000円(消費税抜)

本院の脳ドックは、通例の脳ドックとは異なり特定健康診査(メタボ健診)項目を網羅し、他院にはない血液検査・尿検査・内科的診察・胸部レントゲン撮影・頸部等の検査も行う総合的な健康チェックを特徴としています。

〔受診日〕 第1・4木曜、第2・3水曜日
〔受付時間〕 午前11時 〔終了時間〕 17時00分頃

半日ドック 一般料金 35,000円(消費税抜)

従来の人間ドックは一日がかりですが、時間のなかなかとれない方、気軽に健康状態を知りたい方を対象に、効率よく健康状態を把握できるドックとなっております。

〔受診日〕 月・火・金、第2・3木曜日 〔受付時間〕 14時 〔終了時間〕 16時頃

(CT) CTによる大腸検診 一般料金 29,000円(消費税抜)

大腸をガスの注入によって拡張させ、最新の320列MDCT装置を用いて撮影することで大腸の3次元画像を簡単に得ることができるようになりました。他の大腸検査と比較して苦痛が少なくスムーズに大腸を検査する事が可能です。CTにより病変が発見された場合、別途内視鏡検査が必要となります。また、便潜血反応陽性の方や症状がある方は内視鏡検査をお勧めしております。(説明日と検査日が異なります。)

〔受診日〕 毎週水曜日



健診についての予約・お問い合わせはこちら

〔Tel〕 042-466-1800 (予防・健診センター)

〔受付時間〕 平日9時～16時

※詳細はホームページでも確認いただけます。



食べられないとき・食欲のないときに ~特に消化器の手術などのあとに~

ちょい足し「お手軽タンパク質」

タンパク質は意識しないと不足しがち。
毎朝にプラスして、筋肉貯金を意識しましょう。

				
鶏卵 1個 (60g) タンパク質 7.4g	ツナ缶 1缶 タンパク質 1.9g	さば缶 1缶 (170g) タンパク質 35.3g	いわし缶 1缶 (70g) タンパク質 14.3g	納豆 1パック タンパク質 8.3g
				
チーズ 1かけ (25g) タンパク質 5.8g	絹豆腐 (150g) タンパク質 7.4g	ヨーグルト (150g) タンパク質 5.3g	パルメザンチーズ (大きじ1 6g) タンパク質 2.6g	きな粉 (大きじ1) タンパク質 2.7g

食べ方ワンポイント

調理をしなくても、毎日簡単に取り入れられますよ！

まずはエネルギーと蛋白質を確保
ちょっと手を伸ばしやすいものを、おやつ
感覚で補食にどうでしょう。

- 小分けされたビスケット・クッキー・カステラなど(菓子パンも小さいサイズなら、気軽に手を出しやすい)
- ベビーチーズ・ヨーグルトの小さいパック・おつまみ用の小さい缶詰
- 冷凍のいなり寿司(自然解凍で食べられるものが便利)













お好みの飲み物(牛乳や豆乳を入れるのも)とご一緒に

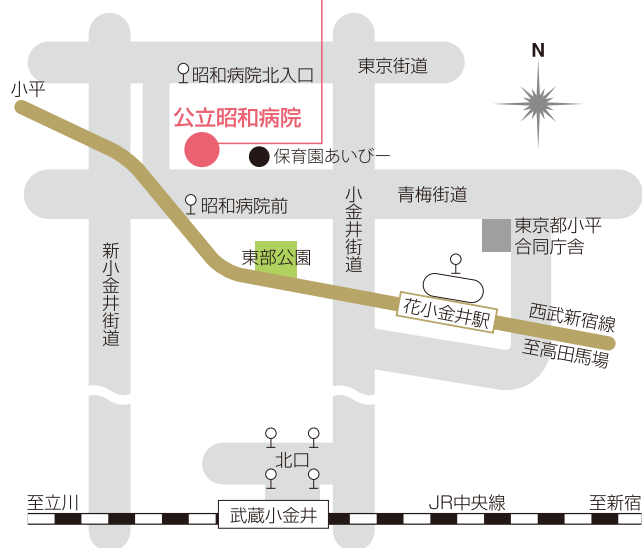
~作ってくれる方がいるならば~

- 小さめのおにぎりや、手巻き海苔巻き
- 小さめのサンドイッチ
- 果物をあらかじめカットして冷やしておいて

好きな時間に食べられるように少なめに置いておきましょう。(おにぎりや海苔巻きの中身は、梅干しの他、鮭や鶏のそぼろなど日持ちの良いもので。サンドイッチも暑い時期には冷蔵庫に入れましょう。)

交通案内

-  西武新宿線「花小金井」駅 北口下車
-  立川バス『寺51』昭和病院行き乗車8分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車8分「昭和病院前」下車
-  JR中央線「武蔵小金井」駅 北口下車
-  西武バス『武21』錦城高校経由東久留米駅西口行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車徒歩5分
-  JR中央線「国分寺」駅 北口下車
-  立川バス『寺51』昭和病院行き乗車30分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車30分「昭和病院前」下車
-  西武池袋線「東久留米」駅 西口下車
-  西武バス『武21』西団地経由武蔵小金井駅行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車
-  西武新宿線「小平」駅
-  北口下車小平市コミュニティタクシー(ぶるべー号)
大沼ルート乗車15分「昭和病院」にて下車
-  南口下車西武バス『武17』昭和病院経由
武蔵小金井駅行き乗車10分「昭和病院」下車
-  都営バス『梅70』青梅車庫前～花小金井駅北口「昭和病院前」下車



公立昭和病院

【発行】公立昭和病院
【編集】広報委員会

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1 www.kouritu-showa.jp
Tel:042-461-0052(予約専用ダイヤル:042-461-4896) Fax:042-464-7912

